

報道各位

## 平成28年度 歯と口の健康週間にあたって

日本歯磨工業会（会長 藤重貞慶）では、来る6月4日から始まる歯と口の健康週間（6月4日～10日）に向けて、例年どおり、口腔衛生を呼びかける歯と口の健康啓発ポスターを制作し全国にお届けします。

本リリースでは、名称変更から4年目を迎える「歯と口の健康週間」に関連する取り組みと当工業会の活動についてご紹介します。

### 『歯と口の健康週間の沿革』

「歯と口の健康週間」の前身である「歯の衛生週間」は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として、昭和3年6月4日に「むし歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが、昭和24年から週間行事となりました。昭和27年には6月4日から10日までの1週間に定められ、昭和33年より「歯の衛生週間」として毎年実施されるようになり、平成25年より「歯と口の健康週間」として新たにスタートしました。

### 『平成28年度 歯と口の健康週間について』

目的：この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

標語：「健康も 楽しい食事も いい歯から」

（仙台市立中田中学校1年 鈴木 柊太さんの作品）

本年度の重点目標

「生きる力を支える歯科口腔保健の推進

～生涯を通じた8020運動の新たな展開～

歯と口は国民が健康に生きていく力を支えるものであり、歯科疾患の予防や歯と口の健康を保持する取り組みを進める必要があることから、「生きる力を支える歯科口腔保健の推進」を重点目標とする。

実施期間：平成28年6月4日（土）～同年6月10日（金）まで

主催：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会

## < 1 >平成28年度 歯と口の健康啓発ポスターの配布

当工業会では、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

### 『企画・制作』

厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会及び日本歯磨工業会

### 『デザイン』

 アランジアロンゾ (B3サイズ 多色刷り)

### 『平成28年度 標語』

「健康も 楽しい食事も いい歯から」

【日本学校歯科医会】が募集した小中学校の標語の中から

仙台市立中田中学校1年 鈴木 柊太さんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」(厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標)

「一生、自分の歯で食べよう」(日本歯科医師会の標語)

「午後のスタートハミガキから」(日本歯磨工業会の標語)

### 『配布』

ポスター27万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。

### 『活用』

このポスターは、歯と口の健康週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いしています。「歯と口の健康週間(6月4日～10日)」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしています。



平成28年度 歯と口の健康啓発ポスター

## < 2 > ホームページからの情報発信について

「みがこうネット」では、新たなコンテンツの追加、情報の更新など、生活者のみなさまへ歯や歯磨に関する情報を発信しています。また、「工業会サイト」では、会員各社の製品一覧や歯磨出荷統計の掲載など工業会の活動の様子を適時伝えています。【 <http://www.hamigaki.gr.jp/> 】

### 1. コンテンツの提供手段の拡大

みがこうネットの歯みがき啓発情報を Web 上だけでなく、より広く活用いただくために、Web 掲載内容を抜粋し、印刷して配布も可能な「歯みがき啓発情報」PDF 版を制作し、「工業会サイト」に掲載しました。

PDF 版では、みがこうネットから「ハミガキ／ハブラシ選びのポイント」、「歯間クリーナー」、「液体ハミガキと洗口液」「シニアの歯と口に起こること」「シニアの歯みがき基本編／応用編」などをテーマに 10 枚制作しました。印刷して配布・掲示しやすいようレイアウトしていますので、必要なものをダウンロードして歯と口の健康週間の啓発活動にご活用いただけます。

制作にあたっては、厚生労働省の担当部門との議論がきっかけとなり、内容についてのご提案、各地方公共団体への告知にご協力をいただきました。

◎ 印刷して使う「歯みがき啓発情報」PDF ダウンロードページ URL

<http://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki1/keihatsu.html>

### 2. 「みがこうネット」のコンテンツ制作・更新予定

#### (1) キャンペーンの実施

読者も参加できるインタラクティブな企画に取り組み、歯磨および関連情報への理解促進をはかる

- ① 歯と口の健康週間企画「標語募集キャンペーン」の継続実施（4月～6月）
- ② 「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」の継続実施（8月～10月）

#### (2) 各コンテンツの企画案

##### ① コンテンツの企画、継続

- ・ファミリー広場 おかずレシピの連載（年2回更新）
- ・はみがき学級 はみがきカレンダー（年4回更新）
- ・がんばれ！みがく君（年2回更新）
- ・メールマガジンの継続発行（キャンペーン開始・新コンテンツの告知）

#### (3) みがこうネット内のコンテンツを探しやすくするためのインデックス表示方法の改良

- ・スマートフォンページでのコンテンツ誘導も改良し、豊富な啓発内容の活用度向上をはかる

### 3. 歯と口の健康週間企画

#### (1) 第16回標語募集キャンペーン

歯と口の健康週間に合わせ、「歯の大切さ、歯をみがくことの大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに標語を募集し、歯と口の健康の関心を喚起すると共に歯磨の重要性を啓発します（4月1日～6月30日の3ヶ月間で実施中）。

最優秀賞の他に、優秀賞、ユニーク賞、ファミリー賞、佳作に選ばれた26作品の作者の方には、賞金や記念品を贈呈し、最優秀作品は、当工業会の標語として幅広く活用していきます。また、キッズチャレンジ賞6作品（キッズ最優秀賞とキッズ優秀賞）は、今回も同様に継続します。本年は、昨年度の応募作品総数13,397作品を上回る応募を目指します。

### < 3 > 啓発冊子の改訂

当工業会では、オーラルケアに関する情報冊子や書籍の発行、キャンペーンや標語募集、さらには、インターネットのホームページをとおして、さまざまなオーラルケアの啓発情報を発信しています。

#### ● 「歯を守る—健やかな生活は口腔保健から」（A4版 29頁、イラスト・図版多用）

保健指導者向けテキスト「歯を守る—健やかな生活は口腔保健から」は、全身の健康の維持増進とそれに関わる口腔保健の重要性、さらにはオーラルケアの具体的なあり方（歯磨剤の働き、効果的な歯みがき方法等）などについて、理解と認識を持っていただくことを目的に制作しています。

#### ● 「歯磨剤の科学」（B5版 43頁、データ図表多用）

歯科専門家向けの「歯磨剤の科学」は、口腔保健剤としての歯磨剤について述べています。歯磨剤の概論、基本的機能、薬用歯磨剤の効果、安全性、役割、歯磨剤によるセルフケアなどについて図や表を用いて説明しています。

### < 4 > 国際交流

中国のオーラルケア工業会である「中国口腔清潔護理用品工業協会」から交流を行いたいとの要請を受け、会員社協力のもと、2015年10月20日～23日の日程にて、企業訪問、工場見学、情報交換会・歓迎レセプションを行いました。

会員各社の協力により、首都圏および関西エリアで対応し、10月22日には、東京で委員会ミーティングを開催し、各委員会の委員長が出席しました。ミーティングでは、日本の歯磨剤市場・技術動向、ISO国際規格等の情報提供を行うと共に、同協会より中国歯磨剤業界の概況の説明を受け、情報交換を行いました。

## < 5 > 日本歯磨工業会の主な委員会活動のご紹介

### 1. 技術委員会：歯科衛生士養成校、歯科衛生士会等での特別授業（講演）開催

日本歯磨工業会では技術委員会が中心となり、歯磨に関する正しい情報を提供することを目的に、平成5年から歯科衛生士養成校および歯科衛生士会へ専任講師や技術委員を派遣して特別授業、講演会を開催しています。昨年度は31件の特別授業を開催し、歯科衛生士養成校の学生1,817人の方に受講いただきました。本年度も積極的な活動を展開します。

#### <特別授業（講演）開催件数>

	歯科衛生士養成校	歯科衛生士会	合計
平成23年度	19	4	23
平成24年度	22	5	27
平成25年度	36	6	42
平成26年度	36	3	39
平成27年度	31	0	31

### 2. 技術委員会：日本歯科衛生教育学会総会・学術大会 ランチョンセミナー開催

平成27年11月28日～29日、神奈川歯科大学にて行われた第6回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会において、当工業会によるランチョンセミナー「お口の健康を支える 歯磨剤の科学～特別授業のご紹介～」を開催いたしました。セミナーは、11月28日に開催し歯科衛生士養成校の教員を中心に143名の参加があり、事後アンケートによると約9割の方が「日々の活動に役立つ」とお答えいただきました。

### 3. 薬事委員会：薬用歯みがき類製造販売承認基準の改正要望の実現

平成27年3月25日付で、永年の課題であった「薬用歯みがき類製造販売承認基準」の改正について、当工業会が要望した3項目が採用された「薬用歯みがき類製造販売承認基準」が新たに発出、平成27年4月1日に施行され、約21年ぶりの改正が実現しました。これにより、有効成分リストの成分の名称並びに規格等の整備が行われ、さらに、洗口液の一部及び、硝酸カリウムを有効成分とした「歯がしみるのを防ぐ」効能を標榜する歯みがきについて、承認基準に採用され都道府県への申請が可能となりました。

以上

本件のお問い合わせ先： 日本歯磨工業会 山下 育生 TEL 03（3249）2511

## 平成27年度（1月～12月）歯磨出荷統計

### 1. 平成27年度の出荷実績について

平成27年度の歯磨類全体の出荷実績は、数量では507,356千個、中味総量では92,496トン、金額では122,358百万円となった。これを前年実績と比較すると、数量では23,454千個(+4.8%)、中味総量では4,852トン(+5.5%)、金額では5,947百万円(+5.1%)の増加となり、いずれも前年の水準を上回った。

### 2. 分類別、剤型別の出荷実績について

本統計は、薬機法の分類により歯磨を「化粧品の歯磨剤（以下「化粧品」という）」と、「医薬部外品の歯磨剤（以下「医薬部外品」という）」とに分け、また、剤型が液状のものを「液体歯磨（以下「液体」という）」と「洗口剤」とに分けて、それぞれ作成した。

#### （1）化粧品と医薬部外品の割合

化粧品と医薬部外品の割合は、数量では化粧品6.2%、医薬部外品93.8%、中味総量では化粧品12.8%、医薬部外品87.2%、金額では化粧品5.9%、医薬部外品94.1%となった。

#### （2）剤型別の実績

・練・半練及び潤製歯磨の合計は、数量では425,273千個、中味総量では47,753トン、金額では90,655百万円となっており、これを前年実績と比較すると数量では16,515千個(+4.0%)の増加、中味総量では1,751トン(+3.8%)の増加、金額では2,917百万円(+3.3%)の増加となった。なお、歯磨全体に占める練歯磨の割合は、数量では84.3%、中味総量で52.4%、金額では75.2%となっており、半練、潤製歯磨の歯磨全体に占める割合は、金額で0.2%であった。

・液体と洗口剤の合計は、数量では82,083千個、中味総量では44,743トン、金額では31,703百万円となっており、これを前年実績と比較すると数量では6,939千個(+9.2%)、中味総量では3,100トン(+7.4%)、金額では3,030百万円(+10.6%)の増加となった。なお、液体と洗口剤の歯磨全体に占める割合は、金額で液体が13.1%、洗口剤が12.8%、合計25.9%となっている。

### 3. 出荷実績前年比較（前年比）

	（%）		
	数量	重量	金額
練歯磨	104.0	103.4	103.2
半練・潤製粉	134.8	293.2	170.6
小計	104.0	103.8	103.3
液体歯磨	114.5	111.8	113.8
洗口剤	105.5	104.4	107.5
小計	109.2	107.4	110.6
合計	104.8	105.5	105.1

#### 4. 出荷実績の推移（平成17年～平成27年）

歯磨類全体の出荷実績（金額）の推移をみると、平成17年度の84,174百万円から平成24年度には100,000百万円の大台に乗り、平成27年度は122,358百万円となった。

剤型別にみると、練・半練及び潤製歯磨の合計は、金額で65,248百万円から90,655百万円へ25,407百万円の増加となった。数量も364,167千個から425,273千個へ増加したが、重量は48,232トンから47,753トンへ減少した。

高付加価値化による単価の上昇と数量拡大が市場拡大に貢献している。1本当たりの重量は減少。

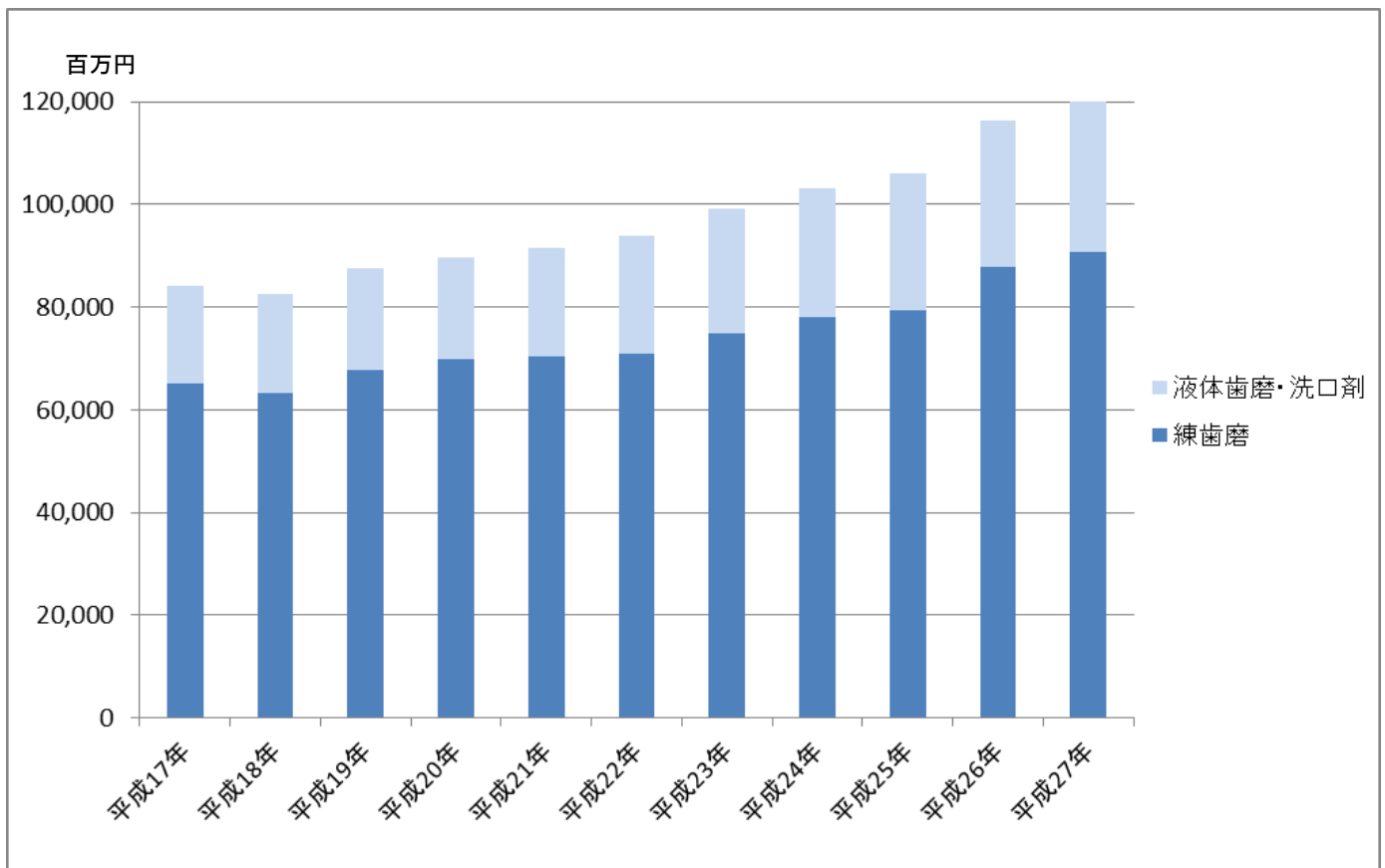
液体歯磨と洗口剤の合計では、金額で18,926百万円から31,703百万円へ大きく伸長し、12,777百万円の増加となった。数量は53,583千個から82,083千個へ、重量は22,343トンから44,743トンへいずれも増加した。

使用率の上昇による数量増が市場拡大に貢献しており、大型化も継続している。

歯磨類 出荷金額推移

(百万円)

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
練歯磨	65,248	63,226	67,785	69,909	70,418	70,825	75,035	77,964	79,405	87,738	90,655
液体・洗口剤	18,926	19,402	19,788	19,868	21,228	23,142	24,277	25,287	26,714	28,673	31,703
合計	84,174	82,628	87,573	89,772	91,646	93,967	99,312	103,251	106,119	116,411	122,358



以上

平成28年度「歯と口の健康週間」にあたって

日本歯磨工業会 会長

藤重 貞慶

「歯と口の健康週間」が今年も6月4日から10日まで、全国的に展開されます。本週間の目的は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民の皆様に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図ることにあります。また、併せて歯科疾患の早期発見、早期治療を徹底することにより、歯の寿命を延ばし、国民の皆様の健康の保持増進に寄与することを目的としております。歯の健康だけでなく、歯を含めたお口全体の健康に意識を高めることにより、「お口からの全身健康への貢献」を目指していくものです。

総務省発表の2015年7月現在の日本人の平均寿命によりますと、男性が80.5歳、女性は86.8歳となり、女性は3年連続で世界一となり、男性は前年の4位から3位となり、世界有数の長寿国となっています。ここで問題となりますのが、平均寿命と健康寿命の格差です。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定義されています。単に長生きするというのではなく、いかに健康的に長生きするかという課題を投げかけています。

厚生労働省発表の2013年の健康寿命は、男性71.2歳、女性74.2歳で、平均寿命と健康寿命の差は、男性9.3年、女性12.6年もの長い間、健康上の問題で日常生活に制限を受けて過ごすこととなります。

健康寿命を伸ばし、健康長寿社会をつくることは国の課題でもあり、健康医療戦略推進法に基づき、健康寿命を2020年までに1歳以上伸ばす(2010年対比の目標)目標が掲げられています。

また、健康日本21(第二次)においても、健康寿命の延伸と健康格差の縮小(都道府県格差の縮小)がテーマとなっており、「歯と口腔の健康」分野においては、う蝕予防と歯周病予防による健康寿命の延伸が分野目標として設定されています。

健康寿命の医療の視点で大事なことは、「治療」から、「予防」へシフトしていくことです。そのためにも、歯磨工業会は、社会的使命である口腔保健の重要性と、そのための歯科医によるプロフェッショナルケアと日常のセルフケア



の有用性について、各委員会活動を通じて、従来にも増して多面的な情報発信、啓発活動、研究活動などを実施して参ります。

当工業会で取り纏めた出荷統計によりますと、2015年(平成27年)の歯磨類全体の出荷金額は1,224億円となりました。歯磨出荷実績は平成24年度1000億円の大台に乗りましたが、平成19年度から9年連続で前年実績を上回り、過去最高の出荷金額となりました。昨年の実績を前年と比べますと、練歯磨の出荷金額は103.3%、液体歯磨と洗口液の出荷金額は110.6%、歯磨合計で105.1%となりました。その他カテゴリーを含むオーラルケア市場も活発な状況となっています。

このことは、国民の健康意識の高まり、即ち、お口の健康が「全身の健康」を保つ上でとても重要であることが認識されてきており、いつまでも元気で楽しく人生を過ごしていきたい、というニーズの高まりでもあります。

歯磨工業会は、一日一日を充実して生き、健康に暮らしていける「健康寿命」を長く保つことに貢献できる産業であり、行政の施策や国民運動の背景に支えられ、引き続き、ライフステージに応じた適切なう蝕予防・歯周病予防等の「歯と口腔の健康」づくりを進めていく使命がございます。

当工業会では、今年も「歯と口の健康週間」の意義と目的を周知する為、官民一体となった広報活動を展開して参ります。活動の一環として例年通り、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会等と協力して「歯と口の健康啓発ポスター」の制作・配布を始め、標語募集キャンペーンなど幅広く展開し、「歯と口の健康週間」の一層の盛り上げを図って参ります。

今後とも国民の皆様の健康づくりに貢献をし続けていくことが、当工業会の会員各社に課された社会的使命であると捉え、子供から大人まで、ライフステージ毎の口腔衛生の普及に努め、あらゆる人々の「健口」ニーズに応える為の研究開発と商品提案を進めて参ります。皆様方には格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。